



ものづくりを通じ多世代が集うカフェ

いのちの木



上:おしゃべりしながらの編み物がより創作意欲を増す。左:共同事業で「本づくり学校」を立ち上げる手製本の専門企業美篇堂(みすずどう)の本。右:編んだ作品は店内で販売。目の前で売れると喜びも倍増!

MESSAGE

地域の弱さを抱えた人々を支え続け、支えあって生きていくまちにものづくりを通じて弱い人が喜んで生きていくことができるまちが豊かなまちだと考えています。2014年4月から手製本の企業と共同事業で「本づくり学校」を開業、まちをより活性化していきます。

NPO法人五つのパン理事 船田 富士男さん(左)、岩永 敏朗さん(右)



弱さを持つ人間同士が助け合える、その手段のひとつがハンドメイド

「いのちの木」の運営は、2004年に「弱さを持つ人間同士が助け合える。ハンドメイドの魅力でまちづくり!」を理念に設立されたNPO法人「五つのパン」です。活動は、精神障がい者の訪問介護事業を核に、2009年には手作り絵本、製本、布小物製作などとカフェを兼ねた地域活動支援センター「マローンおばさんの部屋」を横浜市都筑区仲町台に開設。手作り絵本を中心に子育て世代との交流が始まりました

ふるさとを離れた高齢者が新たに暮らすまち「仲町台」に居場所をつくる

仲町台は開発20年の若いまち。マローンおばさんの部屋にはこのまちで暮らす子ども達に呼び寄せられ、地方から移り住んだ高齢者も来て、無縁の地域で居場所が作りづらく孤独感を抱いている姿がありました。そこで五つのパンは、高齢者、職人が培ってきた技術、知恵、体験を次世代につなぐための新たなワークショップ&カフェいのちの木を2012年、仲町台駅前ストリートに開設しました



なかもちだい帖

神奈川県

コミュニティ

カフェ

横浜

ミシンの音を聞きながらお茶が飲めるカフェ

いのちの木には、店左奥の広いテーブルにミシンがあり、月曜日はミシンのワークショップ。水曜午後は70代~90代が集う編み物サークルと地域の高齢者がものづくりをするスペースとして開放しています。昔のことなど語りあいながらものづくりをすることで、気持ちも安らぎ、若い世代の色、デザインのアドバイスが効き、売れる商品が誕生し、生きがいにつながっています。カフェでは障がい者を雇用、特上豆のコーヒーを淹れるなどの働き場が提供されています。

五つのパンは2013年7月、まちの歴史や開業のきっかけを商店に取材、仲町台に移り住む人に紹介する「なかもちだい帖」を発行。高齢者に人気のまちのガイドブックになっています。

DATA

Tel: 045-945-2223 Fax: 045-947-1779

E-mail: tree-of-life@mbr.nifty.com

<http://www.inochi-no-ki.com/>

横浜市都筑区仲町台1-32-21
アルス仲町台せせらぎ公園書番館1F
横浜市営地下鉄「仲町台駅」徒歩2分

営業時間: 10:30~17:30

定休日: 土・日・祝

メニュー: スペシャルティコーヒー各種

紅茶、ハーブティー

トーストセット(添加物不使用の「ブルーコーナー」のパン使用)